

レジメン名

FOLFIRI + ramcirumab

出典 サイラムザ適正使用ガイド  
 カンプト適正使用ガイド  
 Lancet Oncol 2015;16:499-508  
 サイラムザ添付文書2020年11月改訂

## 実施部署区分

入院 外来 処置

対象疾患

大腸癌

進行・再発  
補助療法(術前・術後)  
  


## 投与減量の基準

WBC	2000/mm <sup>3</sup> 未満		
その他	上記基準または下痢が認められた場合、回復を確認後、次回投与時20-25%減量にて再開。		

## 投与中止の基準

WBC	3000/mm <sup>3</sup> 未満	PLT	7.5万/mm <sup>3</sup> 未満※
その他	※適正使用ガイドでは10万/mm <sup>3</sup> だが、制限が厳しいためGrade2の血液毒性として上記の値で登録		

1コース期間 14日

総コース数 PDまで

(次のコースまでの標準期間)

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1, d8等)
ラムシルマブ(サイラムザ)	8mg/kg	NS250mL	1時間※	day1
※初回60分で忍容性が良好であれば2回目以降は30分まで投与時間の短縮可能				
イリノテカン	150mg/m <sup>2</sup>	輸液250mL	2時間	day1
レボホリナート	200mg/m <sup>2</sup>	輸液250mL	2時間	day1
フルオロウラシル(急速静注)	400mg/m <sup>2</sup>	NS50mL	全開	day1
フルオロウラシル(持続静注)	2400mg/m <sup>2</sup>	輸液適量	46時間	day1

1日投与順 (経時的に「レメディケーション・ポストレメディケーション、 溶解液まで含む」)
day1 ①生食20mL CVポートよりのルート確認用 ②アロキン0.75mg+デキサート6.6mg +ボラミン5mg+生食50mL (15分) ③サイラムザ8mg/kg+生食250mL(60分※) (2回目以降30分まで短縮可) <b>インラインフィルターを用いて投与</b> ④イリノテカン150mg/m <sup>2</sup> +5%精液250mL (2時間) ④'レボホリナート200mg/m <sup>2</sup> +5%糖液250mL (イリノテカンと同時に)(2時間) ⑤フルオロウラシル400mg/m <sup>2</sup> +生食50mL(全開) ⑥生食50mL フラッシュ用 ⑦フルオロウラシル2400mg/m <sup>2</sup> +生食αmL計 140mL (インフューザーポンプ使用にて46時間で投与)
<内服>
day1から4日間 ウルソデオキシコール酸(100)3錠 分3毎食後 炭酸水素ナトリウム 1.8g 分3毎食後 (遅発性下痢の予防目的)
day2及び3 デカドロン(4mg)1錠 分1朝食後